

第11回中小企業向けリスク対策オンラインセミナーを開催 ～サイバーリスク対策のための情報システム管理について専門家が解説～

日本損害保険協会中国・四国支部(委員長：中村 一樹・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員)は、2026年2月10日(火)に、中小企業向けリスク対策セミナーをオンラインで開催し、約60人が参加しました。

近年、サイバー攻撃の件数は増加するとともに、ますます高度化、巧妙化しています。また、サイバー攻撃のターゲットは、公的機関や金融業・保険業に限らず幅広い業種が攻撃対象になり、企業規模の大小にかかわらず拡がっています。中小企業がサイバー攻撃に対応する実現可能なセキュリティ対策について、経済産業省のIT政策実施機関である独立行政法人情報処理推進機構(IPA)登録セキュリティプレゼンター 大久保茂人氏を講師としてお招きし、「中小企業が本気で取組む情報セキュリティ対策とは」をテーマに最近の情報セキュリティの驚異の動向と中小企業での情報セキュリティ対策について解説しました。

セミナーでは、大久保氏からの講演に次いで、当支部 三角 晋生事務局長代理から、サイバー保険の必要性や概要について説明しました。参加者からは、「4つの安全対策（組織的・人的・技術的・物理的）に仕分けして対策していくことを学んだ。情報セキュリティ対策に取組むにあたって有益な内容であった」「社内でセキュリティ対策を説くうえで、学んだことを活かしたい」や、「サイバー攻撃を受けた際にはフォレンジック調査（データ解析）も必要になる。サイバー保険加入も具体的に検討したい」などの感想が寄せられました。

当支部では、引き続き、行政機関や広島県中小企業診断協会等と連携して、中小企業を取り巻くリスクに備える取組みを推進してまいります。

＜セミナーの概要＞

1. 「中小企業が本気で取組む情報セキュリティ対策とは」

講師：独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) 登録セキュリティプレゼンター

プラスエス 代表・(一社)情報処理安全確保支援士会 会長 大久保 茂人 氏

サイバー攻撃から守るためにとる企業の行動指針について、基本となる「情報セキュリティ5か条」や「セキュリティ自社診断」を踏まえ、現在、経済産業省が導入を進めている「セキュリティ対策評価制度」に基づいて、中小企業でのセキュリティ対策を具体的に解説した。

2. 「今注目の「サイバー保険」」

講師：日本損害保険協会 中国・四国支部 事務局長代理 三角 晋生

企業のリスクマネジメントの中でサイバー攻撃にどのように対応していくのか、対策手段の一つとしてサイバー保険の概要や保険加入の必要性について説明した。

3. 主催者関連団体からのお知らせ

中国経済産業局から中小企業の事業継続力強化計画(ジギョケイ)に係る支援内容を説明した後、中小企業基盤整備機構中国本部の経営課題経営課題を解決する支援制度を紹介した。



大久保氏の講演



三角事務局長代理の講演



セミナー運営事務局の様子



セミナーで使用した教材